

実現しました

高校の通級指導教室、2校から4校へ 明善高、嘉穂東高に開設

今議会の決算特別委員会で山口議員は、国に対し「強力に通級指導教室充実の予算を確保し、市町村が求める配置要望に応えられるよう」働きかけることを求めました。あわせて、県が国に先立ち、高校の通級指導教室を本年度から博多青松、ひびきの2校で開始したことを評価するとともに、さらに広げること求めたところ、さっそく来年度から増設されることになりました。



県民の命とくらしを守る

「市町村国保の広域化」― 国に財政支援求め、 保険料の負担増を抑制せよ

決算特別委員会質疑 山口律子委員



山口委員は、県が国保の「広域化移行」に向けて、一般会計からの法定外繰り入れや繰り上げ充用の解消を強調してきたことを取り上げ、全体として「法定外繰り入れも繰り上げ充用も増えている」実態と、一方で「解消」のため保険料の値上げに踏み切る自治体が相次いでいる事実を突き付けました。

県当局の「県単位の財政運営で制度が安定する」との答弁に対し、山口委員は「県が医療費抑制の司令塔の役割を担わされる」こと、「国が3400億円の公費投入しても赤字解消にならない」ことを指摘したうえで、「保険料の値上げを抑えるために市町村への財政支援を」「国庫負担の増額を」と求めました。

担当課長は、「新制度移行後の運用状況を検証」、「国の定率負担の引き上げ」などを国に要望している旨、答弁しました。

「アダルトビデオ出演強要」許すな！ 被害者救済と対策を

一般質問 高瀬菜穂子議員



高瀬議員は、嫌がる女性を無理やりアダルトビデオに出演させるリアルな実態を告発。内閣府、警察庁、文科省など各省庁からの通達を受け、どのような対策を講じているのか質しました。

高瀬議員は、この問題における県の窓口への相談件数が1件、警察においては「把握していない」という実状に、「それぞれの取り組みは緒に就いたばかり」と指摘、すでに民間の相談機関がたくさんケースを抱えている状況があり、「行政との連携」を求めました。あわせて、相談者一人一人に寄り添う専門的な支援が必要であると、そのための人員配置、体制整備を求めました。

県の借金
過去最高

県民一人当たり64万8千円

高瀬議員が反対討論

高瀬議員は、平成28年度の予算が県政史上最大規模となり各分野の予算の伸びがプラスとなるなか、社会保障費、とりわけ診療報酬や介護報酬の抑制が図られるなど、県民生活を直撃するものとなったことを指摘。その一方で、ダム建設に特別会計とあわせて380億円、下関北九州道路に調査費をつけるなど、巨大開発事業優先の予算が執行されたことを批判しました。このような本県の財政運営のもとで、県債残高は、

前年度から564億円も増えて過去最高額を更新、3兆5071億円（県民一人当たり64万8千円）にもなっています。

高瀬議員は、改めて、不要不急の大型開発の予算を見直し、防災・減災対策に必要な予算措置をおこない、スピードを上げて取り組むことを強く要望し、「平成28年度一般会計決算」に反対を表明しました。

2016年度決算